

科目名	特別支援教育概論	担当教員	池田 千紗 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	----------	------	---------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
作業療法学専攻	専門科目	選択	4年次	後期	1単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR42B	②、④					

科目概要	2007年、特別な場で教育を行う「特殊教育」から、一人一人のニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行う「特別支援教育」へと発展的に転換したことで、教育・福祉・医療等の連携がこれまで以上に求められるようになった。本講義では、学校作業療法の実践から特別支援教育で求められる外部専門家としての作業療法士の役割について考察を深める。
学習目標	①多様な学びの場と合理的配慮について理解する。 ②教育機関との連携方法と福祉・医療機関の役割について理解する。 ③学校作業療法の実践事例から外部専門家の役割について理解する。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	特別支援教育のとは①	多様な学びの場について	子どもが教育を受ける際の選択肢や個別の指導計画、支援計画について理解する。	
2	特別支援教育とは②	合理的配慮について	子どもが教育を受ける権利について理解する。	
3	福祉機関の役割	教育・福祉機関の連携について	教育・福祉機関の連携方法、福祉サービス（主に保育所等訪問支援事業）について理解する。	
4	医療機関の役割	教育・医療機関の連携について	教育・医療機関の連携方法について理解する。	
5	学校作業療法の実践①	学校作業療法で支援を行った事例について（特別支援学級での実践紹介）	特別支援学級での実践について知る。	
6	学校作業療法の実践②	学校作業療法で支援を行った事例について（特別支援学級での評価と支援）	特別支援学級での実践について、評価方法や支援方法を考える。	
7	学校作業療法の実践③	学校作業療法で支援を行った事例について（通級指導教室での実践紹介）	通級指導教室での実践について知る。	
8	学校作業療法の実践④	学校作業療法で支援を行った事例について（通級指導教室での評価と支援）	通級指導教室での実践について、評価方法や支援方法を考える。	
評価方法		課題（学習のまとめプリント）（100%）		
課題に対するフィードバック		各講義で課題「学習のまとめプリント」を提示し、次回講義で解説する。 講義中・講義終了後に質問を受け、回答する。		
教科図書		特に指定しない。		
参考図書		講義の中で紹介する。		
学習の準備		1.（予習）第2回の講義以降、講義中に配布する資料を通読し用語の確認をする（90分） 2.（復習）講義中に配布する「学習のまとめ（プリント）」に取り組み、次回の講義で提出する（90分）。		
オフィスアワー		講義の前後とする。		

担当教員欄に※印を 附した教員の実務経 験	
-----------------------------	--